

フレッツ光におけるIPv6インターネット普及に向けた NTT東西の取り組みについて

2017年10月16日

東日本電信電話株式会社

西日本電信電話株式会社

取り組み状況

項目	内容	進捗状況	備考
アクションプランに対する進捗状況	既存利用者へのIPv6利用に係る利用者の同意や理解を得るための機会拡大	<p>2015年2月から提供中の光コラボレーションモデルにおいて、光コラボレーション事業者様に対して、IPv6インターネット接続サービス（IPv6オプション）をデフォルト提供する環境を用意させていただき、お客様が当該光コラボレーション事業者様に申し込むことにより、意識することなくIPv6インターネット接続サービスをご利用可能としてきたところ。</p> <p>引き続き、積極的に光コラボレーションサービスを推進することで、IPv6利用に係る利用者の同意機会の拡大を図っている。</p> <p>■光コラボレーションモデルの契約状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NTT東日本・NTT西日本：44%※がコラボ光。 <p>※フレッツ光(コラボ光含む)の契約数に占める割合(2017年3月末データ)</p>	別紙1
	ベンダーによるIPv6対応ルータの開発をサポートし、対応ルータの普及を促進	<p>【NTT東日本】</p> <p>利用者がIPv6接続機能を利用するために、IPv6対応のホームゲートウェイのレンタルを開始（2016年9月30日）。</p> <p>（参考：西日本は2009年6月1日レンタル開始、2014年IPv6対応。）</p>	別紙2
	Wi-Fi利用のIPv6対応推進	<p>NTT東日本／NTT西日本にて提供するWi-Fiサービスのうち以下のサービスは、提供開始時よりIPv6対応。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NTT東日本：ギガらくWi-Fi（2014年12月1日提供開始） ・NTT西日本：スマート光ビジネスWi-Fi（2015年3月6日提供開始） 	—

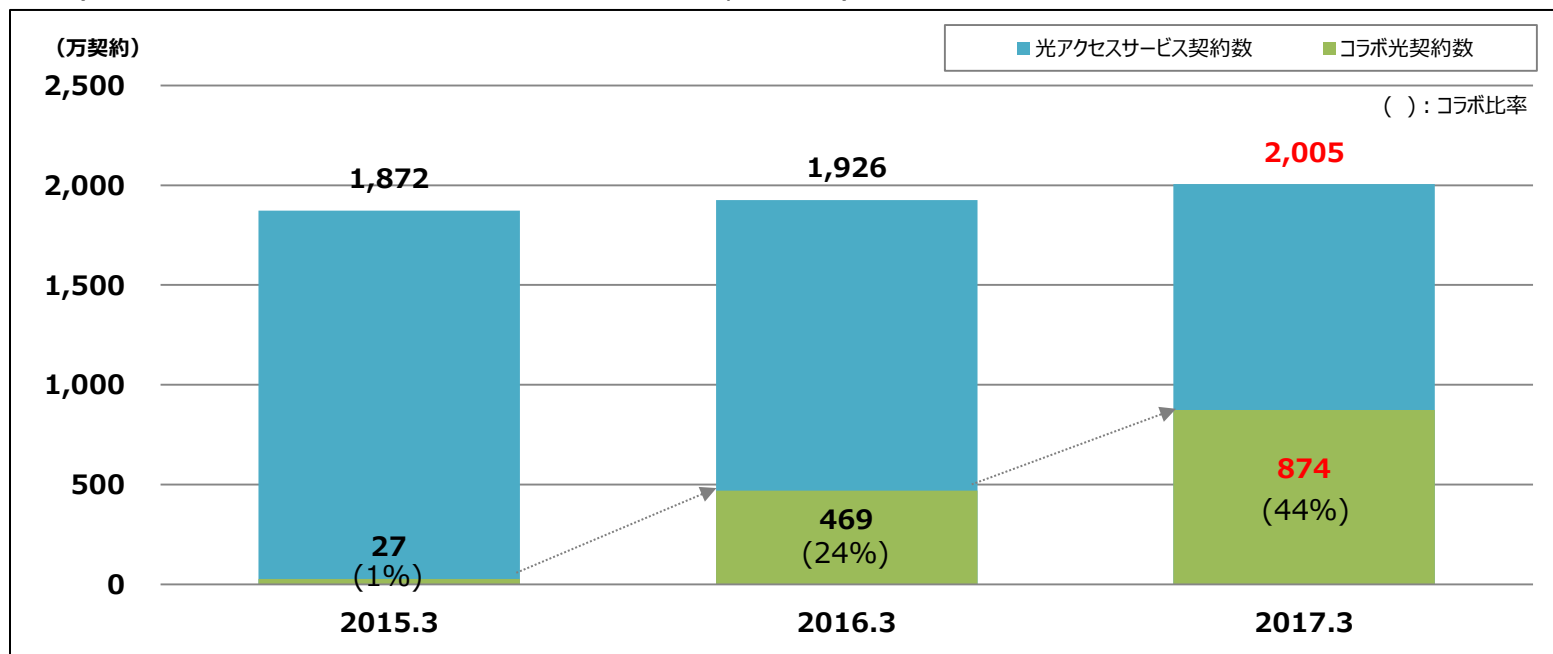
別紙 1 IPv6利用に係る機会拡大

【課題内容】

既存利用者へのIPv6利用に係る利用者の同意や理解を得るための機会拡大

- 2015年2月から提供中の光コラボレーションモデルにおいて、光コラボレーション事業者様に対して、IPv6インターネット接続サービス (IPv6オプション)のデフォルト提供する環境を用意させていただき、お客様が当該光コラボレーション事業者様に申し込むことで、意識することなくIPv6インターネット接続サービスをご利用可能としてきた。
- 引き続き、積極的に光コラボレーションサービスを推進することで、IPv6利用に係る利用者の同意機会の拡大を図っている。
- 光コラボレーションモデルの契約状況として、NTT東日本・NTT西日本合計で44%※がコラボ光。
※フレッツ光 (コラボ光含む) の契約数に占める割合 (2017年3月末データ)

(参考) 光アクセスサービス数とコラボ光契約数の推移 (東西合計)



別紙2 対応ルータ普及促進

【課題内容】

ベンダーによるIPv6対応ルータの開発をサポートし、対応ルータの普及を促進

- 利用者がIPv6接続機能を利用するために、IPv6対応のホームゲートウェイのレンタルを開始。

NTT東日本におけるIPv6対応のホームゲートウェイ提供状況※

	ひかり電話契約	
	あり	なし
フレッツ光ネクスト ギガ・スマートタイプ、 ギガラインタイプ	ホームゲートウェイを提供	
上記以外の フレッツ光ネクスト、 光ライト、光ライトプラス	ひかり電話対応機器として ホームゲートウェイを提供	新たに ホームゲートウェイ（レンタル）を提供 （2016年9月30日より提供開始）

※西日本は2009年6月1日レンタル開始、2014年IPv6対応。